

- 問1 当時の様子を描いた屏風などの絵画には、大型の船から上陸した商人が象などの珍しい動物を連れている様子や、キリスト教の宣教師が日本人の案内を受ける場面が描かれています。このような文化交流を伴った貿易の主な相手国として正しい組み合わせはどれですか。 （2026年 千葉県公立入試 類似）
1. オランダ・イギリス 2. 中国（明）・朝鮮 3. アメリカ・ロシア 4. ポルトガル・スペイン
- 問2 豊臣秀吉が農民から刀、脇差、弓、槍、鉄砲などの武器を没収した政策の目的と、その結果として進められた社会的な区分について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 （2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。 2. 自給自足の生活を推奨し、農村に商人が入り込むのを制限することで、幕藩体制の基礎を築いた。 3. 鉄砲の製造を特定の職人に制限し、幕府が軍事力を独占することで、戦国時代の終焉を宣言した。 4. 検地帳に農民の名前を登録することで、土地の所有権と耕作の権利を保障し、税率を一定にした。
- 問3 豊臣秀吉は、刀狩令によって農民から武器を没収するとともに、太閤検地によって耕作者を検地帳に登録しました。これらの政策を通じて、武士と農民の身分を明確に区別した仕組みを何と呼びますか。 （2022年 鳥取県公立入試 類似）
1. 兵農分離 2. 廃藩置県 3. 版籍奉還 4. 地租改正
- 問4 16世紀のヨーロッパで起こった宗教改革によって、ローマ教皇を中心とするカトリック教会から分離し、新しく成立したキリスト教の諸派を総称して何と呼びますか。なお、この勢力に対抗してカトリック側が布教を強化したことが、後にイエズス会による日本へのキリスト教伝来につながりました。 （2024年 秋田県公立入試 類似）
1. 正教会 2. プロテスタント 3. イスラム教 4. 清教徒（ピューリタン）
- 問5 16世紀にドイツのルターらが始めた宗教改革において、彼らがカトリック教会の権威に対抗するために最も重視したものは何か、次の中から選んでください。 （2021年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 信仰のよりどころとしての聖書 2. 十字軍の遠征による聖地の奪還 3. イスラム教の教典であるコーラン 4. ローマ教皇が下す命令や教会の伝統
- 問6 美術史上の資料において、厳格な儀式を描いた古代エジプトの壁画や、ナポレオンを英雄として描いた19世紀の騎馬像などに対し、14世紀から16世紀のルネサンス期の芸術作品には「人間中心主義（ヒューマニズム）」という特徴が見られます。この背景にある当時の社会の変化として、最も適切な説明を選んでください。 （2025年 茨城県公立入試 類似）
1. モンゴル帝国の拡大によって東西交流が盛んになり、イスラム世界の数学や科学がヨーロッパに直接流入した。 2. 産業革命が進展して都市労働者が増加したことで、個人の権利や平等を求める民主主義の運動が活発化した。 3. 十字軍の遠征などを経て教会の権威が揺らぎ、人々の関心が神の世界から現実の人間社会へと移り変わった。 4. フランス革命によって身分制社会が崩壊し、市民が主体となった自由な芸術表現が国家によって推奨された。
- 問7 織田信長が安土の町に出した法令において、「楽市としたので、いろいろな座は廃止し、さまざまな税や労役は免除する」「京都を行き来する商人は必ず安土に寄って泊まるようにせよ」といった内容が記された目的として、最も適切なものはどれですか。 （2019年 沖縄県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教を制限し、寺社勢力の経済的基盤を奪うため 2. 武士と百姓の身分を明確に区別し、一揆などの反乱を未然に防ぐため 3. 土地の生産力を調査し、年貢を確実に徴収する仕組みを作るため 4. 城下町に商人を集め、自由な取引を認めることで商工業の発展を促すため
- 問8 マゼランの船団が、ポルトガルが既に開拓していたアフリカ南端経由の東回り航路ではなく、あえて西回りの航路でアジアを目指した当時の背景として最も適切な説明はどれですか。 （2015年 大分県公立入試 類似）
1. 大西洋の西側に巨大な金銀の島が存在するという確実な地図が、スペイン王室に伝わっていたため 2. 羅針盤の技術が未熟だったため、海岸線沿いに進む東回り航路よりも外洋を横断する方が安全だと考えられたため 3. 教皇子午線（トルデシヤス条約）により、スペインはアフリカ沿岸を通る航路の利用を一切禁止されていたため 4. スペインがポルトガルの勢力圏を避けつつ、香辛料の産地であるアジアへの独自ルートを確認しようとしたため
- 問9 16世紀ごろの世界を描いた資料において、ヨーロッパからアフリカ大陸を大きく迂回してインドへ向かう航路が描かれることがあります。この航路が開拓された歴史的背景とその目的について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 （2026年 三重県公立入試 類似）
1. オスマン帝国などの勢力を通さず、アジアの香辛料を直接かつ安価に手に入れるため、大西洋からインド洋へ抜けるルートを確認しようとした。 2. 地中海貿易の主導権を握っていたベネチアの商人に対抗するため、フランスがアフリカ大陸を横断する陸路の代替案として開発した。 3. アメリカ大陸で発見された銀をアジアへ運ぶため、スペインの支援を受けてアフリカ南端を経由する最短ルートを確立しようとした。 4. 羅針盤や天体観測の技術が未発達であったため、常に海岸線を目視できるアフリカ沿岸を経由してアジアを目指す必要があった。
- 問10 安土桃山時代の茶の湯の流行について述べた次の文のうち、千利休が行った活動やその背景として正しいものはどれか。 （2021年 大分県公立入試 類似）
1. 金箔をふんだんに使った豪華な装飾を推奨し、武士の権威を誇示するための華やかな茶会を主催した 2. 京都の鴨川の河原において、新しい芸能である「かぶき踊り」を披露し、民衆の間で茶の湯を広めた 3. 水墨画の技法を茶の湯に取り入れ、禪の精神を視覚的に表現した障壁画を数多く制作した 4. 簡素な趣を重んじる「わび茶」の作法を確立し、狭い茶室を政治的な交渉や密談の場としても活用させた
- 問11 豊臣秀吉が行った外交政策のうち、当時の記録に「明（みん）の征服を目指して朝鮮に軍を派遣した」と記述される出来事の背景や結果として正しいものはどれですか。 （2023年 大分県公立入試 類似）
1. 出兵の結果、明との正式な貿易である勘合貿易を再開させることに成功した。 2. 2度にわたる朝鮮半島への出兵を行ったが、秀吉の病死によって軍は撤退することとなった。 3. 朝鮮の国王を日本に招き、江戸幕府の権威を示すための朝鮮通信使の制度を確立した。 4. 朝鮮との連合軍を組織し、当時勢力を拡大していたモンゴル帝国の侵攻を阻止した。
- 問12 安土桃山時代の政治について、織田信長が行った天下統一のための行動とその背景の説明として最も適切なものはどれか。 （2018年 京都府公立入試 類似）
1. 太閤検地や刀狩を行うことで、武士と百姓の身分を明確に区別する兵農分離を完成させた。 2. 南北朝の合一を成し遂げることで、長年の朝廷の混乱を鎮めて政治の安定を図った。 3. 江戸に幕府を開き、参勤交代の制度を設けることで全国の諸大名を統制した。 4. 室町幕府の將軍を追放して既存の支配体制を打破し、実力によって全国を支配しようとした。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 ポルトガル・スペイン	「南蛮人」とは、主に東南アジアの拠点を經由して来航したポルトガル人やスペイン人を指します。彼らは貿易だけでなく、イエズス会などの宣教師を通じてキリスト教や、パン・カステラ・メガネといったヨーロッパの新しい文化や技術を日本に伝えました。
問2	答え 1 農民による一揆を防止して耕作に専念させ、武士と農民の身分を区別する兵農分離を進めた。	豊臣秀吉は、農民から武器を取り上げる「刀狩」を行うことで、武力による抵抗（一揆）を物理的に不可能にしました。これにより農民を農業生産に集中させ、年貢を確実に徴収する体制を整えました。同時に、帯刀が許される武士と、耕作を担う農民という身分の違いが明確になり、後世に続く「兵農分離」の基盤が作られました。
問3	答え 1 兵農分離	豊臣秀吉は、農民が一揆を起こすことを防ぎ、また年貢を確実に納めさせるために刀狩を行いました。同時に太閤検地によって農民の権利と納税の義務を確定させたことで、戦う役割の武士と耕作する役割の農民という区別が明確になり、社会の安定化が図られました。
問4	答え 2 プロテスタント	ルターやカルバンらの主張を支持した人々は、カトリック教会に「抗議する者」という意味からプロテスタントと呼ばれました。カトリック側はこれに対抗して自らの勢力を立て直すためにイエズス会を設立し、アジアなど海外への布教を積極的に行うようになりました。
問5	答え 1 信仰のよりどころとしての聖書	ルターは、当時のカトリック教会が腐敗していると考え、教会の儀式や教皇の権威よりも、キリスト教の原点である聖書に書かれた言葉を信じるべきだと主張しました。これが「聖書中心主義」です。ルターは多くの人々が聖書を読むよう、ラテン語だった聖書をドイツ語に翻訳しました。この改革によって生まれた新しい宗派は、「抗議する者」という意味からプロテスタントと呼ばれます。
問6	答え 3 十字軍の遠征などを経て教会の権威が揺らぎ、人々の関心が神の世界から現実の人間社会へと移り変わった。	中世ヨーロッパはキリスト教の影響力が極めて強い社会でしたが、十字軍の失敗や都市の発展、さらにはペストの流行などにより、教会の絶対的な権威が低下しました。これに伴い、人々の価値観は「神」から「人間」へと転換し、古典文化に学ぼうとするルネサンスの動きが加速しました。
問7	答え 4 城下町に商人を集め、自由な取引を認めることで商工業の発展を促すため	信長は「座」の特権廃止や税の免除だけでなく、商人に安土を經由させる仕組みを作ることで、物資と情報の集積を図りました。これは、既存の寺社や公家の勢力を弱めると同時に、自らの領地の経済力を強化して軍事費を確保する狙いがありました。なお、身分の区別（兵農分離）については豊臣秀吉の政策として有名です。
問8	答え 4 スペインがポルトガルの勢力圏を避けつつ、香辛料の産地であるアジアへの独自ルートを確保しようとしたため	大航海時代、高価な香辛料を求めて欧州諸国はアジアを目指しました。アフリカ南端を經由する東回り航路はポルトガルが独占していたため、後発のスペインは反対方向である西回りの航路を開拓することで、自国の利益を確保しようとしていました。トルデシリャス条約は勢力圏を分けるものでしたが、未知の西回り航路にかけたのは経済的・政治的な対抗意識が背景にあります。
問9	答え 1 オスマン帝国などの勢力を通さず、アジアの香辛料を直接かつ安価に手に入れるため、大西洋からインド洋へ抜けるルートを確保しようとした。	当時、ヨーロッパで需要が高かった香辛料は、イスラム勢力やベネチア商人が仲介することで非常に高価なものとなっていました。大西洋に面したポルトガルは、これらの中間搾取を排除して直接利益を得るために、アフリカ南端の喜望峰を經由する新しい海上ルートの開拓を推進しました。この航路の開拓により、貿易の中心は地中海から大西洋へと移り変わっていくことになります。
問10	答え 4 簡素な趣を重んじる「わび茶」の作法を確立し、狭い茶室を政治的な交渉や密談の場としても活用させた	千利休は、高価な道具や豪華な装飾を誇るのではなく、不足の中に美を見出す「わび茶」の精神を重んじました。茶室は余計な装飾を排した極めて狭い空間であったため、戦国大名たちが本音で語り合える場となり、政治的な重要性が高まりました。他の選択肢にある障壁画は狩野永徳、かぶき踊りは阿国の事績です。
問11	答え 2 2度にわたる朝鮮半島への出兵を行ったが、秀吉の病死によって軍は撤退することとなった。	全国統一を果たした秀吉は、さらに中国の大国であった明を征服しようと考え、その経路となる朝鮮半島に2度（文禄・慶長の役）大軍を送りました。しかし、朝鮮側による抵抗や秀吉自身の病死により、目的を達せぬまま撤収することになりました。なお、朝鮮通信使は江戸時代に朝鮮との国交が回復した後に始まった制度です。
問12	答え 4 室町幕府の将軍を追放して既存の支配体制を打破し、実力によって全国を支配しようとした。	信長は室町幕府を滅ぼすことで中世的な権威を否定し、楽市・楽座などの経済政策や強力な軍事力によって天下統一を推進しました。南北朝の合一は室町時代の足利義満、兵農分離の完成は豊臣秀吉、参勤交代は江戸時代の徳川家光による功績や制度であり、信長はそれらに先立つ新しい統治の仕組みを作り上げようとしていました。